

市議会だより



発行◆渋川市議会
編集◆渋川市議会報編集委員会

2020年〈令和2年〉
2月1日第**57**号

表紙の写真:古巻小学校の書き初め大会

令和元年

12月渋川市議会定例会

- 本会議のあらまし…………… 2ページ
- 各常任委員会の審査…………… 3～4ページ
- 一般質問（7人の議員が市政を問う）…………… 6～10ページ

令和元年

12月定例会

あらまし

補正予算、ほか1件を否決

令和元年12月定例会は、11月28日から12月11日までの14日間の日程で開催されました。市道の廃止・認定、市民会館耐震補強及び改修工事請負契約の変更、公の施設の指定管理者の指定、補正予算などの40議案が提出され、一部を除いて各常任委員会へ付託し、慎重に審議を行いました。一般会計補正予算と市長の給与支給条例の一部改正については否決し、そのほかの議案については、原案のとおり可決、承認しました。

市長専決処分の報告

公用車の事故について、専決処分の報告（和解及び損害賠償の額を定めることについて）がありました。

市長専決処分の報告と承認

「令和元年度渋川市一般会計補正予算（第5号、第6号）」について、2議案とも全員一致で承認しました。

市道の廃止・認定

上信自動車道道路整備に伴う市道の付け替えなどにより、祖母島の2路線を廃止し、祖母島、有馬、中村、小野子などの6路線を認定するものです。全員一致で

可決しました。

公の施設の指定管理者の指定について

体育施設（学校運動場等照明施設ほか17カ所）、交流促進センター、小野上農林漁業体験施設、都市公園等（上ノ山公園ほか27カ所）について、令和2年4月1日からの1年間、公共施設管理公社、ケービックス株式会社を指定し、施設の管理を行わせるものです。3議案とも賛成多数で可決しました。

公文書等の管理に関する条例

公文書を市民の財産と位置づけ、その適正な管理及び歴史的公文書について必要な事項を定めるもので、全員一致で可決しました。

交通指導員設置条例の廃止

法改正により、交通指導員が特別職非常勤でなくなるため条例を廃止するもの。全員一致で可決しました。



市民の安全を守る交通指導員

渋川市長及び副市長の給与及び旅費支給条例の一部改正

市民会館耐震補強及び改修工事の工期延長により、各種イベントのスケジュー

ルや会場の変更が行われ、市民等の文化活動に影響が生じたことを鑑み、市長の期末手当を20パーセント減額するものです。賛成少数で否決しました。

市営伊香保温泉駐車場条例

八千代橋駐車場の供用開始及び渋川市営駐車場条例で規定する駐車場のうち伊香保温泉観光施設事業特別会計で所管している駐車場を別途管理するため、条例

を制定するものです。全員一致で可決しました。

補正予算

令和元年度一般会計補正予算（第7号）は、歳入、歳出それぞれ1億1303万円を追加、総額382億2596万7000円とするものです。

主なものは、職員人件費、救急医療体制の充実に向けた検討推進事業、東京2020オリンピック・パラリンピック推進事業などです。賛成少数で否決しました。

特別会計補正予算については、6議案とも全員一致で可決しました。

常任委員会の審査

総務市民

渋川市長及び副市長の給与及び旅費支給条例の一部を改正する条例

市民会館の耐震、改修工事の工期延長により市民等の文化活動に影響が生じたため、市長の期末手当を20パーセント減額するもの。賛成少数で否決しました。

質疑 市民に迷惑をかけたという理由での減額だが、責任の取り方が違うのではないか。

【答弁】 責任の取り方は色々あると思いますが、開館が遅れ会場変更や中止など、市民に迷惑をかけました。開館時期の設定など配慮すべきで、工期に無理があったことについて反省しています。期末手当を減額することでの気持ちを表し責任を取りたいと考えます。

渋川市民会館耐震補強及び改修工事の請負契約の変更について

建築主体、電気設備、機械設備工事について、3議案とも全会一致で可決しました。

質疑 今回の増額分は、ダクト配線の工事等との説明だが、現地を確認したら完了している。議会議決してから工事着工すべきものが、既に工事が終わっているのは、どういうことなのか。

【答弁】 最終的な手直し等もありますが、設計変更ガイ



リニューアルされる市民会館

ドラインで、軽微な変更については工期末での変更手続きでよいとされているため、12月定例会で、変更をお願いすることになりました。

質疑 どのような耐震補強を行ったか。また、建物の傾き等の問題はなかったのか。

【答弁】 主に、大ホールの屋根を支える部分や天井の補強を行いました。傾き等については調査の結果、安全に問題はないと考えています。

経済建設

渋川市伊香保温泉浴場石段の湯条例について

条例の評価・見直しの審査結果に基づき、条例の全部を改正しようとするものです。全会一致で可決しました。

質疑 市営温泉の障がい者及び市内高齢者の使用料が施設により差異がある理由



心も温まる石段の湯

【答弁】 施設の設備状況（サウナ等）によるものと、合併前の使用料を継続しているため使用料に差が生じているものです。今後は、料金について見直し、調整していきたいと考えます。

公の施設の指定管理者の指定について

ケービックス株式会社を渋川市交流促進センター及び渋川市小野上農林漁業体験施設の指定管理者に指定し、施設の管理を行わせるためのものです。全会一致で可決しました。

質疑 指定管理期間が1年間であるが、その理由は。

【答弁】 観光施設等あり方検討委員会が民間への譲渡方針を受け、温泉センター等とあわせて譲渡するのが適当と考え、指定期間の終了期をそれとそろえるためです。

委員会協議会

渋川市農林業振興計画（案）について

この計画は、渋川市の農林業振興に向け、将来の目指すべき姿とそれを実現するために策定するものです。

質疑 市の方針としては、どのような作目に力を入れていくのか。

【答弁】 農業者の意見を聞きながら、畜産、野菜栽培を中心に進めていきます。

質疑 振興計画を進める上での意見収集はどのように行うのか。

【答弁】 各種農業団体と情報交換を重ねていきます。また、収穫体験等を通して、消費者の意見も収集していきます。

教育福祉

公の施設の指定管理者の指定について

渋川市体育施設（渋川市学校運動場等照明施設ほか17カ所）について一般財団法人渋川市公共施設管理公社を指定管理者として令和2年4月1日から令和3年3月31日までの1年間、施設の管理運営を行わせるものであり、既に管理運営をしている公園、体育施設等を一体的に管理するものです。多数決で可決しました。

質疑 指定期間が1年となつているのはなぜか。

答 そのほかの施設の指定管理期間が、令和3年3月31日となっており、その後の期間を統一するため1年としました。

質疑 渋川市公共施設管理公社の評価は。

答 平成27年5月31日に評価し、及第点を超える評価となっています。

予算

一般会計補正予算（第7号）は賛成少数で否決しました。国民健康保険特別会計など6つの特別会計補正予算は全会一致で可決しました。

総務費

質疑 庁内の調査委員会で外部委員の報償費が見当たらないがどこに計上しているのか。また人事異動により参事である政策主監を部長級としているのは、給与条例主義違反に当たるのではないか。

答 外部委員の報償については、総務費内で流用しています。参事については部長級の心構えで取り組んでいます。

時間外勤務手当

質疑 人事異動により、時間外勤務手当が大きく増額している。過労など健康問題に直結する。どのように対応しているか。

答 さまざまな行政要望

に対応するため、業務量は増大しています。業務内容など見直し、効率的に業務ができるよう注意をしています。

救急医療体制の充実に向けた検討推進事業

質疑 ドクターカー導入の道筋、救命医確保の考えは。

答 医師会、医療センター、消防本部などで構成する委員会で、ドクターカー導入に向けた検討をしています。医師確保については、さまざまな機関と連携していきます。財政支援も必要と考えます。



導入について検討されるドクターカー

歴史的価値のある硯石の掘り起こしに関する特別委員会

令和元年9月定例会において「硯石の掘り起こしに関する特別委員会」を設置しました。

「硯石」は、北橘町の赤城南麓広域農道（からつ風街道）沿いの市有地にある大石で、親鸞上人が硯として使ったとの伝説があります。

この「硯石」を現職市議が、市の正式な手続きを取らず掘り起こし、市の担当者には文書での手続きをせずに口答で受け入れたと新聞報道がされました。この報道を受け、市議が行った事案について、議会として調査が必要ではないかと議員提案が出され、可決し、設置したものです。

基本的に週1回の委員会を開き、この間に当事者を含む関係者9人から、硯石の掘り起こしに関する事項について聞き取り調査を行ってきました。

聞き取りをした中で、発

言内容に食い違いが出ており、今後は、聞き取り内容及び事実関係を精査し、まとめた上で、議会に報告する予定でいます。

また、特別委員会では、参考にするため、市に対して「渋川市行政事務執行の適正化に関する調査委員会」の会議録及び会議資料の開示を求めましたが、回答は、現在審議中であり、意思形成の過程にある会議録または会議資料は非公開とするとのことでした。

硯石の掘り起こしに関する特別委員会

委員長	田邊 寛治
副委員長	角田 喜和
委員	田中 猛夫
	池田 祐輔
	細谷 浩
	山崎 正男
	安力川信之
	茂木 弘伸

討 論

12月定例会では議案3件について、討論が行われました。主な討論の概要を報告します。

討論とは、議案等を議決するために賛成・反対の意見を述べることを言います。

「令和元年度渋川市一般会計

補正予算(第7号)」

賛 成

今回の補正予算は、本市を取り巻く諸課題に迅速に対応し、施策を推進する取り組みが盛り込まれている。特に「東京2020オリンピック・パラリンピック推進事業」では、前回大会の昭和39年10月以来56年ぶり国内開催の気運を高めるため、県内15市町村で聖火リレーが予定され、渋川市では4月1日に聖火リレーがスタートする。前夜祭及び出発式等を開催することにより、市民に聖火リレーの感動を記憶に残してもらい、後世に語り継がれることを願うのが主力の予算である。

反 対

硯石の問題で、庁内行政事務執行の適正化に関する調査委員会の外部委員報償は予算化した後に執行するのが妥当である。行政改革推進費を減額したのも問題である。行政改革は渋川市の重要課題である。さらに市職員の給与に関する条例では、部長と参事は職務に区別があるにも関わらず参事に部長の職を担わせるのは条例違反である。

現在市の職員が疲弊し閉塞感が漂っている。予算を否決し市長は反省すべき点を反省し、改めて臨時議会を開催し市民要望に応えることを望む。

議員全員協議会のあらまし

第2期渋川市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)について

渋川市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、これに向けた取り組みを重点的に推進してきたが、人口減少・少子高齢化に歯止めがかからない現状を踏まえ、地方創生の一層の充実・強化を図るため、中長期的に人口減少に対して取り組みが必要があることから、第2期総合戦略を策定し、さらなる充実・強化に向けた取り組みを継続的に推進するとの説明がありました。

渋川市民会館耐震補強及び改修について

平成30年9月定例会において契約議決を受けて着工したが、定例会で工事内容の周知や意見の反映が不足しているという指摘を受け、改めて内容の精査を行い、追加工事に必要な補正予算と変更契約の契約議決を受

けました。その後、オリンピック・パラリンピックの関連工事を起因とする全国的な「高力ボルト」の不足から、工期延長の契約議決を6月定例会で受け、12月定例会で工事契約変更の議案を提案し、2月15日に完成の予定です。工期延長に伴い、予定していた市民会館の実施事業は、日程変更、会場変更等で調整したとの説明がありました。

《第1回》臨時会のあらまし(12月19日開催)

【専決処分の報告】

個人所有の乗用車が市道走行中に、側溝グレーチングの跳ね上げにより破損した事故について、和解及び損害賠償額の報告がありました。

【一般会計補正予算】

12月定例会で市議会から指摘された、行政事務執行の適正化に関する調査委員会の外部委員の報償費等13万7000円を追加したもので、全員一致で可決しました。

渋川市議会はインターネット中継しています。市議会ホームページからご覧いただけます。

ホームページアドレス <http://www.city.shibukawa.lg.jp/gikai/index.html>

パソコンのほか、「スマホ・タブレット」でも見られます。



左のQRコードを読み取るか、インターネットの検索で「渋川市議会」を検索し、「議会放映システム」をタッチしてください。

一般質問

～7人の議員が市政を問う～

※ 一般質問のタイトル及び質問内容は質問者の責任において作成しています。

P7 加藤 幸子 議員

- 2020年度予算編成について
 - 1 子育て支援策について
 - 2 公民館と地域活動について
 - 3 電力の自給自足について

P7 安力川 信之 議員

- 教育改革について
- 安心安全のまちづくりについて

P8 角田 喜和 議員

- 交通安全対策について
- 市民の足の確保について
- 防災無線について

P8 池田 祐輔 議員

- 防災減災への市の取り組みと地域防災組織の充実
 - 1 災害発生時の職員対応について
 - 2 自主防災組織の強化及び充実について
 - 3 自主防災リーダーの責務について

P9 細谷 浩 議員

- これからの渋川について
 - 1 新産業ゾーン
 - 2 教育環境
 - 3 共生社会ホストタウン

P9 須田 勝 議員

- 安心して暮らせるしぶかわ
 - 1 森林整備
 - 2 ごみ出しモラル
 - 3 学校行事
 - 4 群銀敷島支店問題

P10 田中 猛夫 議員

- 予算編成と財政の健全化
- 渋川市農林業振興計画について

一般質問の詳しい内容は、会議録検索システムまたは議会放映システムをご覧ください。渋川市議会ホームページからご覧いただけます。

一般質問



加藤 幸子

来年度予算編成は
市民が安心して暮らせる予算に

質問 児童扶養手当の申請・現況

届の窓口で「私を侵す」対応があるが改善を。申請受付時の聞き取りは別室で行うべきでは。

福祉部長 受給資格の確認のため

に、確認書により現況届の補完をしています。引き続き、口頭での聞き取りについては最小限にするなど、プライバシーへの配慮に務めます。

公民館祭りの補助金について

質問 古巻公民館建設の基本計画

はいつ示されるのか。古巻地区と赤城町の人口・世帯数は同程度。

祭りの規模は違うが、補助金は赤城まつりが県・市合わせて350万円。古巻公民館納涼祭は8万円。

公民館祭りの補助金の引き上げを。

教育部長 基本計画は、今年度3

月議会において示す予定です。赤城まつりは、公民館の行事ではなく比較できませんが、古巻公民館納涼祭の補助金は現状を維持し、実施方法の工夫により、地域コミュニティを推進していきます。



古巻公民館納涼祭

電力の自給自足を

質問 地球温暖化で激甚な気象災

害が頻発している。二酸化炭素の発生を抑えるために再生エネルギーの活用が必要。災害被害を最小とするために電力の自給自足や災害時の太陽光発電の自立運転の仕組みの周知の徹底を。

市民部長 事業者ごとに自立運

転に関する操作が異なっていますので、災害発生時の被害軽減の観点から、市としても設置者に対して、事業者に関わり合わせただけのよう

うに周知を図っていきます。



安力川信之

誰も置き去りにしない教育改革を

学ぶ楽しさを味わえる教育を

質問 小学校低学年に徹底した基

礎学力を。児童に寄り添う、学習支援の取り組みは。

教育長 小学校低学年の児童が学

ぶ楽しさを味わい、望ましい学びの習慣を身に付けられるよう、また、楽しく基礎的な学習を身に付けられるよう、支援の制度を検討していきます。

質問 渋川市版奨学金奨励金制度

創設に向けた取り組みは。

教育長 貸与型奨学金とは別に、将来渋川市のために貢献しようとする強い意志のある人材に対する奨励金制度の創設に向け準備を進めています。

質問 発達障がい支援センター設置に向けての取り組みは。

市長 発達障がいの疑いがある子どもとの相談に、専門的に対応できるように、新年度設置に向けて進めていきます。

市民の力で災害に強い渋川を

質問 ハザードマップをより活用するため、AR（拡張現実）技術

を用いた見える化を。

市長 ハザードマップについては、

分かりやすく見やすく工夫をしています。AR、VR（仮想現実）の活用も大事だと思います。最新技術をしつかり検討していきます。

質問 自閉症などの方に、一人一人の特性に応じて寄り添う避難支

援を。

危機管理監 自閉症などの方々

は、環境の変化に対応が難しいため、災害時の避難行動の一連を個別支援プランとして作成し、行政と共有しておく必要があります。



ICTを活用した授業の様子



角田 喜和

路線バスの見直しで利便性の向上を

医療センター経由の路線新設を

質問 市は住民の生活圏を踏まえ、公共交通を総合的に見直すことが重要だとしている。路線バスについては、医療センターへは渋川駅起点だが、北部地域から乗り入れる新たな路線新設の考えは。

総合政策部長 医療センターへ直接乗り入れるバス路線の要望は各方面から多数いただいています。すべての地区から直接乗り入れることは困難なので、市民が乗り換えに抵抗感を持たずに利用できる環境整備を併せて検討していきます。

質問 金井地域の利用者から屋根付きバス停を設置してほしいとの要望が出ている。設置の検討を。

総合政策部長 乗合バスの利用を推進していく上で、屋根付きバス停の設置を含む「バス待ち環境」の整備は必要なものと考えます。乗合バスや他の交通手段との主要な結節点を中心にバス待ち環境の整備を進めていきたいと考えます。

室内受信機の設置を

質問 台風など災害時に暴風雨等で音がかき消されて聞こえないという状況がある。板倉町では、ポケットベルの周波数帯を使いラジオ受信機を無償で貸し出している。室内受信機を希望する世帯へ設置する考えは。

危機管理監 希望する世帯への戸別受信機の設置は行っていません。ポケットベルの周波数帯を活用した防災システムについては、現在のシステムが導入から5年しか経過していないため、システムを更新する際に検討していきます。

質問 職員対象の避難所運営訓練はどのような職責・職務を担う職員がどのように行っているか。

危機管理監 訓練は、係長級職員及び新規採用職員、公民館職員を対象に、毎年図上訓練と実習訓練を実施しています。

質問 自主防災会は地域防災活動の核となる組織である。各自主防災会の活動状況を把握しているか。

危機管理監 昨年度は、40自治会から防災訓練等への派遣依頼がありました。現在、自主防災組織の活動状況を調査中で、結果を踏まえ防災活動の支援を推進します。

質問 自主防災組織等活動支援補助金の利用を促し、共助への取り組みを促進していくための手法は。

市長 補助金の活用は、今まで手上げ方式だったが、今後はブッシュ型として、地域や家庭に必要な備蓄品は、市から要請して備蓄していただくよう推進します。また、防災活動を中心とした地域コミュニケーションの活性化を目指します。

質問 養成講座を修了し自主防災



池田 祐輔

市民が安心できる災害への備えを

リーダーに認定されながらも、活動を望まれない方もいる。これからの展望、また活動に対する意向調査などを行っていく考えは。また、都度更新されていく新たな知識に対応するための充実したフォローや活動の後押しも要望する。

危機管理監 防災活動に参加されていない方も、防災の知識や意識は変わらないものと考えます。活動状況を調査し、年に数回実施している、スキルアップ講座への参加を促し、さらなる防災意識の向上と活動を後押しします。

質問 自主防災組織等活動支援補助金の利用を促し、共助への取り組みを促進していくための手法は。

市長 補助金の活用は、今まで手上げ方式だったが、今後はブッシュ型として、地域や家庭に必要な備蓄品は、市から要請して備蓄していただくよう推進します。また、防災活動を中心とした地域コミュニケーションの活性化を目指します。

質問 養成講座を修了し自主防災



屋根付きバス停あるといいですね



充実した地域防災活動を

一般質問



細谷 浩

子どもたちの未来に向けて!!

質問 古巻地区で唯一の公立保育所第四保育所の今後の方向は。

福祉部長 古巻地区の地域性や公立施設の役割、今後の児童数の推移、また、地域の方々や保護者の方々の意見などを踏まえて、方向性を検討します。

質問 市道三国線に設置されているガードレールは強度に問題があると思われるが、対策工事は。

建設部長 歩車道分離の基準を満たしていないガードレールについては、「子どもたちを守る緊急交通安全対策事業」で対応します。

質問 半田4号ボックスの、歩行者用信号の青信号の時間延長は。

総合政策部長 地元からも要望があり、警察署に改善を求めましたが、周辺道路への影響が懸念されるため改修は難しいとのことでした。

質問 高齢者や障がい者の利用を考えて、武道館にエレベーターの設置が必要だが、設置の計画は。

スポーツ健康部長 武道館は武道場や弓道場、会議室があり、スペースがなく課題がありますが、ほ



強度に問題があると思われるガードレール

かの方法も含め研究していきます。

質問 吉岡町境の市道側溝のつなぎ込みなどを連携協定で解決を図れないか。

建設部長 市道側溝の吉岡町への接続については、多くの課題があります。今後、吉岡町との協議に向け、調査研究を行います。

質問 住宅誘導や生活利便性向上のため市道有馬辰巳町線の延伸は。

建設部長 現在、延伸計画はありませんが、今後、南部地区の道路網としての整備計画を考慮し、事業の必要性について判断します。



須田 勝

安心して暮らせるしづかわ

森林整備

質問 今年度、国から配分される森林環境譲与税の使い方。担い手対策、誰がどのように整備するのか。鳥獣被害対策としての整備は。

産業観光部長 森林整備の施策や木材利用促進等に活用します。整備は所有者から委託を受けた林業事業者が担うものと考えます。鳥獣被害対策は竹林・里山整備を進め、生息範囲の縮小を図ります。

ごみ出しモラル

質問 一部の心無い市民のごみ出しモラルの低下に収集運搬委託事業者は迷惑している。市民へのごみ出しマナーの周知と徹底を。

市民部長 引き続き、環境美化推進協議会と連携して、集積所での指導や回覧板等を活用したごみ出しルールの周知徹底に努めます。

学校行事

質問 少人数校の運動会を半日に短縮は意義と内容に違反している。小学校卒業式に中学制服を強制着用はおかしい。自由服で臨むべき。

教育長 学校行事である運動会は、



問われるごみ出しマナー

学習指導要領に沿って健康安全を考慮して適切に実施され、卒業式の服装は、各学校が保護者の意向も踏まえて考えています。

群銀敷島支店問題

質問 1月20日渋川支店へ移転統合後、市としての対応は。地域住民の声は駅前ミニプラザとしての利活用を望んでいるが。

市長 敷島支店の建物の活用については、市議会や地元の経済団体と協議をしながら検討を行い、地域の皆さまとよく相談しながら進めていきます。

一般質問



田中 猛夫

予算編成と財政の健全化

総合計画と予算の連携は

質問 総合計画の確実な推進は、市にとって本質的重大事項である。本市の実態に即した連携策は。

市長 総合計画は市の将来的ビジョンを見据え、中長期的に策定されるものであります。一方で地方公共団体の予算は単年度が原則であることから、総合計画を見据えながら、機動的に必要な課題に対応していくことが大切であります。

管理職手当の支給は適正か

質問 本年8月に「渋川市職員の給与に関する規則」が改正された。改正の内容は。

総務部長 秘書課長及び危機管理室長について、管理職手当の月額を、副部長と同一の額に引き上げて、4月から適用するものであります。

質問 4月にさかのぼり課長職の職員に副部長級の管理職手当を支給するのは不適切な改正ではないか。

市長 管理職手当については、職務の困難性、特殊性について、実

態を見て規則に定めています。さかのぼることについて、問題はありません。

渋川市農林業振興計画

質問 渋川市農林業振興計画の財政規模は。本計画を推進するため市費を投入する考えは。

産業観光部長 本計画に基づく5年間の事業費は約38億円を見込んでいます。産地化やブランド化、環境対策、また新規作物や6次産業化につながる作物の導入費用を支援したいと考えています。



野菜集出荷場

令和2年3月市議会定例会日程予定

日	月	火	水	木	金	土
2/23	24	25	26	27	28	29
					本会議 (開会 議案上程)	
3/ 1	2	3	4	5	6	7
	本会議 (議案上程)	常任委員会 (総務市民 経済建設)	常任委員会 (教育福祉)	常任委員会 (予算)	本会議 (表決) (予算議案上程)	
8	9	10	11	12	13	14
	本会議 (予算議案上程)	本会議 (予算議案上程)	一般質問	一般質問	休会 中学校卒業式	
15	16	17	18	19	20	21
	一般質問	常任委員会 (予算)	常任委員会 (予算)	常任委員会 (予算)	春分の日	
22	23	24	25	26	27	28
	常任委員会 (予算)	休会 小学校卒業式	本会議 (表決・閉会)			

○本会議は午前10時から開会します。

○日程が変更されることがあります。ホームページ等でご確認ください。

議会の傍聴に手話通訳をご利用ください

渋川市議会では、議会を傍聴する人に、希望により手話通訳者を手配しています。
手話通訳を希望する人は、傍聴する日の3日前までに、議会事務局へお申し込みください。
(詳しくは市議会ホームページ「議会の傍聴」まで)

行政視察報告

総務市民常任委員会

日時 11月11日～12日

場所 愛知県長久手市

静岡県三島市

長久手市では、人口増加の要因と今後について視察しました。人口は約5万9000人、面積は渋川市の約10分の1です。名古屋市の東に位置し、名古屋市と豊橋市のベッドタウンとなつています。人口構成が若く、出産や子育て期にある



総務市民常任委員会行政視察(長久手市)

世代が多く、高齢化率は13・2パーセントです。共働きの割合は、子どものいる世帯では低く、子どものいない世帯が高いのが特徴でした。

三島市では、災害対策の強化について視察しました。東日本大震災、熊本地震などを教訓に、平成28年5月に自主防災活動マニュアルを作成し、自主防災組織の活動が活発化するための支援内容を充実させました。災害時、支援が必要かどうかを意思表示する黄色いハンカチ作戦で、誰の目から見ても分かるよう対策をしています。

議会報編集委員会

日時 10月23日

場所 埼玉県大里郡寄居町

「読まれない議会だよりに出す意味なし！」という

編集方針のもと、寄居町の議会報は、町村議会広報全国コンクールにて2年連続全国1位という評価がされています。

紙面へ多くの住民登場を心掛け、必ず議会と住民それぞれの視点に掲載した議会報づくり、また年間の議会の流れと政策サイクルを意識した編集を行っています。住民の関心が高いと思われる議案等に優先順位をつけ掲載し、ほかにもQRコードを活用し記事を補完する取り組みをするなどの工夫が凝らされています。今後も議長を含めた全議員で年間を通じ議会報の作成活動に注力していく旨の説明がされました。



議会報編集委員会行政視察(寄居町)

議会往来

8月

▽22日 大分県日田市議会が視察来庁(学校給食費完全無料化について)
▽22日 東京都新宿区議会が視察来庁(渋川市の防災対策について)

10月

▽1日 富山県黒部市議会が視察来庁(廃校施設の利活用におけるサウンディング型市場調査について)

▽1日 千葉県東金市議会が視察来庁(観光周遊ルート利活用促進事業について)

▽2日 茨城県つくばみらい市議会が視察来庁(学校跡地の利用計画について)

▽18日 宮崎県日南市議会が視察来庁(子育て専用ウェブサイト構築事業について)

▽23日 議会報編集委員会が埼玉県大里郡寄居町へ行政視察

▽24日 岩手県矢巾町議会が視察来庁(子育て支援の取り組みについて)

▽28日 東京都大田区議会が視察来庁(液体ミルクの災害時用備蓄について)

▽29日 北海道登別市議会が視察来庁(第2次渋川市中心市街地活性化プランについて)

▽29日 岡山県津山市議会が視察来庁(情報化推進事業・フォトリポشبかわについて)

▽30日 大分県豊後高田市議会が視察来庁(伊香保ロープウェイの運営について)

11月

▽11～12日 総務市民常任委員会が愛知県長久手市、静岡県三島市へ行政視察

▽13日 長野県岡谷市議会が視察来庁(観光周遊ルート利活用促進事業について)

令和元年 12 月定例会の審議結果

条例の制定……………原案可決

- 条例の評価・見直しに伴う関係条例の整理に関する条例
- 渋川市公文書等の管理に関する条例
- 渋川市営伊香保温泉駐車場条例
- 渋川市営駐車場条例
- 渋川市伊香保温泉浴場石段の湯条例
- 渋川市下水道事業等に地方公営企業法の規定の全部を適用することに伴う関係条例の整理に関する条例

条例の改正……………原案可決

- 渋川市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
- 渋川市長及び副市長の給与及び旅費支給条例の一部を改正する条例
- 渋川市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例
- 渋川市一般職非常勤職員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
- 渋川市税条例等の一部を改正する条例
- 渋川市青少年センター条例の一部を改正する条例
- 渋川市徳富蘆花記念文学館条例の一部を改正する条例
- 渋川市敬老祝金条例の一部を改正する条例
- 渋川市伊香保温泉バス案内所条例の一部を改正する条例
- 渋川市伊香保温泉ビジターセンター条例の一部を改正する条例
- 渋川都市計画事業四ツ角周辺土地区画整理事業施行規程の一部を改正する条例

条例の改正……………否 決

- 渋川市長及び副市長の給与及び旅費支給条例の一部を改正する条例

条例の廃止……………原案可決

- 渋川市交通指導員設置条例を廃止する条例

市長専決処分の報告と承認……………承認

- 令和元年度渋川市一般会計補正予算（第5号）
- 令和元年度渋川市一般会計補正予算（第6号）

市長専決処分の報告

- 和解及び損害賠償の額を定めることについて

その他……………原案可決

- 市道の廃止について
- 市道の認定について
- 字区域の変更について
- 和解及び損害賠償の額を定めることについて
- 渋川市民会館耐震補強及び改修工事（建築主体工事）請負契約の変更について
- 渋川市民会館耐震補強及び改修工事（電気設備工事）請負契約の変更について
- 渋川市民会館耐震補強及び改修工事（機械設備工事）請負契約の変更について
- 公の施設の指定管理者の指定について（3件）
- 群馬県市町村総合事務組合の規約変更に関する協議について

令和元年度補正予算……………否 決

- 渋川市一般会計補正予算（第7号）

令和元年度補正予算……………原案可決

- 渋川市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
- 渋川市介護保険特別会計補正予算（第2号）
- 渋川市伊香保温泉観光施設事業特別会計補正予算（第2号）
- 渋川市交流促進センター事業特別会計補正予算（第1号）
- 渋川市下水道事業特別会計補正予算（第1号）
- 渋川市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）

人 事……………同 意

- 人権擁護委員候補者の推薦について

第1回臨時会の審議結果

（12月19日開催）

令和元年度補正予算……………原案可決

- 渋川市一般会計補正予算（第8号）

市長専決処分の報告

- 和解及び損害賠償の額を定めることについて

編集後記

この2月で選挙から1年が経過致します。皆さんからの負託を受けました18名の議員ですが、第1回臨時会までの192議案、すべての議案へ真摯に向き合い市民福祉向上のために議論を重ねてきました。

このしぶかわ市議会だよりは定例会ごとの議会としての決定や議員の取り組みをしっかりと皆さんにお伝えしていくものです。少しでも皆さんへ分かりやすくお伝えできるように、編集委員一同励んでいきます。

（編集委員 池田祐輔）

議会報編集委員会

委員長 加藤 幸子
副委員長 池田 祐輔
委員 反町 英孝
板倉 正和
田村 なつ江
須田 勝
山内 崇仁